

.....コラムきのうきょう.....

好評だったモチベーションビデオ上映会

本戦もビデオ
ありますか？

駅伝チーム支援の村井ゼミ・プロジェクト続編あり

.....
文&写真 学生記者&FLP村井ゼミ 五十嵐 遥(法学部4年)



上映会



中央大学陸上競技部長距離ブロック駅伝チームの皆さんへのサポートとして、モチベーションビデオを作成し、箱根駅伝予選会(10月13日)を3日後に控えた10月10日、東豊田寮にて上映会を行った。

ビデオは、当日の朝まで修正・手直しを繰り返し、なんとか完成した。約半年間かけて作り上げたものをようやく観てもらえるときが来たかと思うと、とても緊張した。

きちんとビデオが流せるだろうか。私たちが作ったものが部員の皆さんにどう映るだろうか。大事な決戦の日を直前に控えているところにお邪魔する、ドキドキしながら寮へ向かった。



モチベーションビデオ上映会。
駅伝チームの許可を得て、この模様を初公開

ピリピリした雰囲気想像していたが、そんなことはなく、上映が始まると序盤から笑いが起きた。終始和やかな雰囲気だった。ビデオが終わると拍手を頂き、関口主将からは、毎年ありがとうございますという言葉と、中大のスポーツを盛りあげる一員として、今回予選会でしっかり結果を残したい、という挨拶を頂けた。

予選会



自分がレースを走るわけでもないのに、私は前日から緊張していた。当日は村井ゼミ一同で応援に向かった。会場には大勢の人がそれぞれの大学の応援にきていた。Cマークの旗・のぼりが数多くあり、各地から白門会、後援会、保護者らが中大を応援しにきているのだと改めて感じた。

応援ではみんな体を前に乗り出して「いけー!」「頑張れー!」と叫ぶ。来場者が多く、思うような移動ができず、選手の姿をしっかり捉えられたのは一度だけだったが、それでも選手が目の前を走るときは、私も大きな声で、全力で応援した。

結果発表



結果発表を待つ広場へ移動し、選手の顔が見える場所に近づいた。発表を待った30分ほどの時間が、とても長く感じた。

そのとき、去年の予選会の様子が頭に浮かんできた。「第3位 中央大

学」と呼ばれたときの、うおおおという体の底からこみ上げてきたような歓喜の声、おめでとう! よくやった! と選手を称える声、鳴りやまない拍手、飛び上がって喜ぶ部員たちの様子が思い出された。

いよいよ発表だ。上位から順にアナウンスされ、8位に中大の名前があげられた。

おめでとう! 箱根だぞ! といった勢いのある声と大きな拍手に包まれた。また今年もこの雰囲気を味わうことができ本当に良かった。本戦出場が無事に決まり、ほっとした。

選手たちが取材を受けている。応援にきた人と写真を撮っている。そんななか、私たちもお疲れさまですと言いながら、いつも通りカメラを回していると、何人かの部員の方々に、「また本戦もビデオつくってくれますか?」「本戦もビデオありますか?」と言って頂くことができ、とてもうれしかった。

今回の予選会では、昨年感じることでできなかった達成感と、まだまだもっと良いビデオを作ることができると期待を持つことができた。

本戦に向けては、関口主将の協力のもと、より現場の人の思いを反映させ、より観る人の心に響くビデオを目指して制作を進めている。

前回のモチベーションビデオで感じられた手応えと、何よりも駅伝チームを応援する気持ちを糧に、学生最後に力を注ぐプロジェクトとして全力でビデオを作る。